

2024年5月23日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社JTBと「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一（以下、当行））は、株式会社JTB（代表取締役社長執行役員 山北 栄二郎（以下、同社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション^①（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるコミットメントライン契約（以下、本契約）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、SPTs）を設定し、金利などの貸付条件とSPTsに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPTs達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、3つのSPTsを設定し、毎年のSPTs達成状況に応じて利率が変動するインセンティブを設けています。設定されたSPTsは、同社が目指すサステナビリティ方針のひとつである「安心して働けるサステナブルな職場環境を目指して」を誠実に遵守し、社員の個性や多様性を尊重し、成長・挑戦の機会を提供することにより、エンゲージメントの高い組織風土の構築に努め、JTBグループの従業員が働きやすい環境を整える上で、重要な指標になります。

同社は、世界のツーリズムをけん引する企業グループとして、交流を通して社会課題の解決を図り、持続可能な社会の実現とツーリズムの恒常的な発展・持続可能な社会の実現に貢献すべく、サステナビリティを中期経営計画「『新』交流創造ビジョン」における重要テーマと位置づけ、また「地球を舞台に、人々の交流を創造し、平和で心豊かな社会の実現に貢献する」ことを経営理念に掲げ事業を展開しています。本契約を通じてサステナビリティ方針で策定している取組内容を着実に実行すべく、従業員のエンゲージメントの強化を通じ、顧客、地域、社会、そしてツーリズムに繋がるステークホルダーとの深い「つながり」を築き、課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現と世界のツーリズムの恒常的な発展に貢献していくことを目指しています。

【本契約にて設定する SPTs】

- ① 男女賃金差異
- ② 男性育児休業取得率
- ③ エンゲージメント指標「私は、会社の未来に希望を持っている」

【本契約の概要】

契約締結日 : 2024年5月17日
貸出人 : 株式会社三菱UFJ銀行
金額 : 80億円
期間 : 3年

また、本契約は、同社が策定した「株式会社 JTB サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク」(以下、同フレームワーク)に基づいています。同フレームワークは、株式会社日本格付研究所 (JCR) より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPTs の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義 (パーパス) と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 850 機関が加盟。

以 上